

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: R3年10月29日

事業所名 ぐろーあっぷSUN

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・動きまわる動のスペースと勉強やお絵かきする静のスペースを分けている。	法令の基準を確保しています。活動に応じたスペースが確保できるよう工夫します。
2	職員の配置数は適切である	5		・利用者と職員の人数を見てルーム内で過ごしたり、戸外でも見守りできる場所を探して外出している。	法令の基準を超えた職員を配置しています。
3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	・トイレはバリアフリーで、段差も小さくしている。 ・危険な場所や外に出られる所に柵をしている。	可能な限りバリアフリー化に努めて行きます。限られたスペースの中で、よりよい構造化がすすめられるよう検討していきます。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		・危険がないようかたづけをしている。	ご利用者様が来る前にルーム内に危険な事がないか点検していく。
5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	・週に1回振り返りをしている。	日課の振り返りなど、職員間の話し合いをこまめに行い、共通理解を深め、業務改善に取り組みます。
6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		アンケート結果を受け、業務改善に向け取りくみんでいます。また、日ごろから保護者様と連携を図り、職員間での認識の違い内容、周知の徹底に努めます。

環境・体制整備

	手エツク項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		保護者様へのアンケート結果を踏まえ、自己評価表を作成し、ホームページに公開します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	・外部評価はない。	第三者による外部評価が必要か、検討します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・研修があると声かけがあり、職員が順番で受けられるようになっていいる。	今後も、外部研修に職員を派遣し、内部研修にも活かせるように努めます。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5			ご利用者様と保護者様の情報を職員で共有し、それを基に適切にアセスメントし、児童発達支援計画を作成します。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		児童発達支援ガイドラインを踏まえたアセスメントを作成しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1		児童発達支援計画は、相談支援事業所が作成した計画書とリンクした内容を作成しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	1		個々の支援内容が意識できるよう、実施記録を活用します。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	・意見を出し合って決めている。	様々な日課を通して療育ができるよう職員皆で検討し、ご利用者様の意見も取り入れながら立案します。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・利用者全員が体験できるよう、日課の曜日を固定していない。	ご利用者様の特性をベースに主体的に、楽しく取り組めるような日課の作成に努めます。

適切な支援の場

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	1	・利用者の様子や意見を見たり、聞いてたりしながら臨機応変に対応できるように心がけている。	ご利用者様の状態に合わせて、個別活動、集団活動を組み合わせていきます。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・朝のミーティングで話し合っている。 ・前日や午前中に準備し、予定を立てている。	職員間の連携が図れるよう、その日の担当が一日の流れや日課の進め方を説明し確認します。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	・送迎などで時間がなく、その日のうちに話し合えるできていない。 ・気づいた事、気をつけた方がいい事があれば管理者に伝えられている。	ご利用者様の人数によって、その日で振り返りの時間を作ることが困難です。今後、ミーティングや朝の会の後に、前日の日課の振り返りの時間を作れるよう努めます。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		・個別支援計画実施記録や日誌。連絡帳を毎日書いている。	日々の支援記録を基に支援の検証を継続します。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			モニタリングにより支援の達成度、ニーズの把握に努めます。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		担当者会議に出席し、情報の共有が図れるよう、体制を維持します。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	2		必要に応じて連携が図れる体制を維持します。また、できるだけ地域や市で開催されている研修会などに参加できるよう努めます。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				

関係機関

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		・お迎え時に担当の先生と園でも様子、事業所での様子を伝えあい、支援に活かしている。 ・お迎え時に体調や変わったことはないか等、共有している。	その都度、情報共有や相互理解が図れるよう、連絡会や担当者会議に参加できる体制を維持します。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2		今後外部研修に参加し、そこで学んだことを、支援に活かし、職員全体の専門性を高められるよう努めます。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		コロナ感染症が終息したら、地域の児童館や公園等を積極的に活用します。また、子ども園等とどういった交流ができるのか検討します。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	1	・地域の児童館や公園でふれあう機会がある。	コロナ感染症が終息したら、参加します。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加している	1	4	・コロナ感染症大防止のため参加していないが、この状況が落ち着いたら参加したいと思っている。	連絡帳や送迎の際に支援内容やご利用者様の様子が伝えられる体制を維持します。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・送迎の時や、連絡帳で伝え合っています。 ・帰りの時に1日の出来事を伝えていいます。 ・連絡帳でその日の様子を記入し、自宅での様子も記入してもらい、情報を共有している。	研修、資料、講習などがあれば、保護者様にお伝えしていきます。また、職員全体で内容が深められるよう勉強会を行います。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	3		契約の際には読み合わせを継続します。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			児童発達支援ガイドラインの資料の配布を検討する。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			

保護者との連携関係機関や保護者との連携

	子エック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		保護者様からの相談については、職員全体で話し合いながら適切に対応できるよう努めます。
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染拡大のため保護者会を控えている。状況が落ち着けば開催予定。</li> <li>・父母会はできていない。</li> </ul>	どういった方法で開催できるかを検討します。
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談や申入れがあった場合に適切に対応できる体制を整えている。</li> <li>・申入れがあった場合は、職員間で話し合いを行い、対応している。</li> <li>・電話や連絡帳などで連絡を取り合いその都度、対応している。</li> </ul>	即、対応できる申し入れについては現在の体制を維持し、職員全体で検討が必要な相談については、その旨を伝え適切に対応します。
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、日課表(活動表)をお渡ししています。</li> <li>・日課、予定表を作成し毎月配布している。</li> </ul>	日課の様子などをホームページで発信できるよう努めます。
38	個人情報の取扱いに十分注意している	5			内部研修を行い、適切に個人情報の取り扱いについて、理解を深めます。
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語やジェスチャー、マカトンサイン等で情報伝達できるよう心がけている。</li> </ul>	分かりやすい言葉や、絵、写真カード、文字盤などを利用し、意思疎通を図ります。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3		コロナ過で、どういった方法で地域に開かれた運営ができるか、検討します。

保護者への説明責任等

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	3	訓練を実施していきます。	マニュアルは作成していますが、保護者様に周知はできていないので、訓練の様子などをホームページに掲載できるようにします。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	3		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認している	4	1	・食物アレルギーのある利用者がいる場合は、どのような対応をするかを確認している。 ・保護者に確認しています。 ・契約の際に管理者が保護者に確認している。	契約の際に保護者様から聞き取りを行い、アレルギーのある子は定期的な把握・確認を行っています。対象児が入る場合は、医師の指示書を確認します。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2	ヒヤリ・ハットの作成をする	ヒヤリ・ハットを活用し、緊急性がある場合は迅速に対応し、安全に支援が提供できるよう努めます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2		内部研修を継続し、理解を深めていきます。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1		身体拘束について事業所全体で理解を深め、必要であれば、児童発達支援計画に記載します。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。